

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ 公告いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によ り電子公告ができない場合は、日本経済新 聞に掲載いたします。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等に なります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配 当金受取り方法の 変更等)		みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできま せんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。)	
ご 注 意	支払明細発行については、右 の[特別口座の場合]の郵便物 送付先・電話お問い合わせ先・ 各種手続取扱店をご利用 ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買 増以外の株式売買はできません。証券会 社等に口座を開設し、株式の振替手続さ を行っていただく必要があります。

- 株主様のご住所・お名前等使用する文字に関してのご案内
- 株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。
- このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。 このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。	
【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】 法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。 【主な支払調書】 ＊配当金に関する支払調書 ＊単元未満株式の買取・買増請求など株式の譲渡取引に関する支払調書	【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】 ●証券口座にて株式を管理されている株主様 お取引の証券会社までお問い合わせください。 ●証券会社とのお取引がない株主様 下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。 みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-84-0178

第76期
株主通信 [中間報告書]

平成28年4月1日～平成28年9月30日



基本理念

Philosophy

1

わが社は、世界水準の製品を創り出すことにより、持続的な成長を遂げ、永遠の存在を目指す。

2

わが社は、有意義な製品とサービスを提供することにより社会に貢献する。

3

わが社は、国際社会に共生する一員であることを意識するとともに、法規等を遵守し、環境保全に努力する。

4

わが社は、すべての関係者・機関に調和のとれた満足を提供することを目標とする。

5

わが社は、互いの価値を認め合う人々の集団であり、熱意をもって向上・革新へ挑戦していく。

Our Products

平河ヒューテックの製品



各種デジタルインタフェイスクーブル



電源コード



超音波内視鏡用ケーブル



放送用光波長多重伝送装置



ネットワーク用光波長多重伝送装置



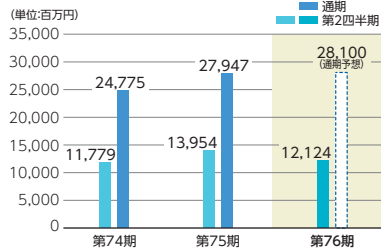
医療用補強材入りチューブ(体内使用)



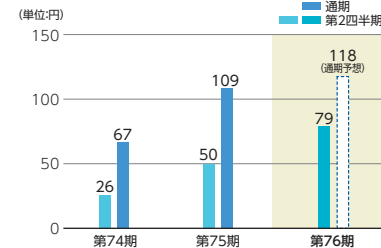
医療用多孔精密チューブ(体内使用)

連結財務ハイライト

●売上高

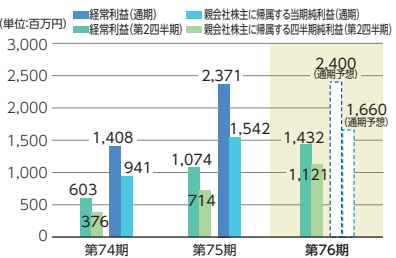


●1株当たり四半期(当期)純利益

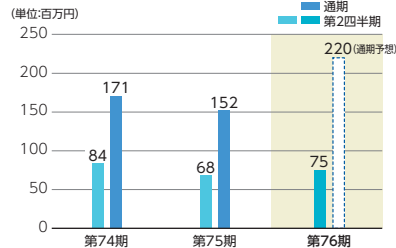


平成28年2月4日付で普通株式1株につき2株の割合に株式分割を行っております。
上記グラフは、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を記載しております。

●経常利益／親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

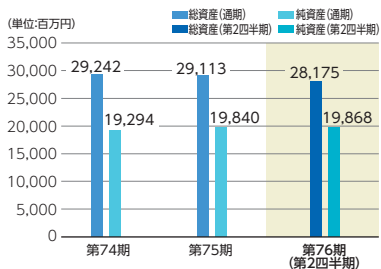


●研究開発費

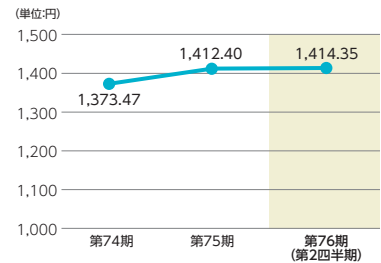


Financial Highlights

●総資産／純資産



●BPS(1株当たり純資産額)



株主の皆様へ

To Our Shareholders



取締役 執行役員社長

篠 祐一

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り心より感謝申し上げます。第76期の株主通信〔中間報告書〕をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、カーエレクトロニクス市場は堅調に推移しましたが情報通信機器市場は弱含みで推移しました。

このような事業環境下において、当社グループでは、第76期の年度方針として、『変化を先取りし、自ら変革しよう』を掲げ、課題解決に向け常に時代の変化を先取りし、現地・現物・現実の三現主義に基づき業務プロセスを変革させる活動を全社員が実践することにより、時代に即した製品・サービスの創出につなげてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は為替の円高等の影響があり121億24百万円(前年同期比13.1%減)となりました。生産性の改善及び原材料価格の低下等により営業利益は14億55百万円(同36.0%増)、経常利益は14億32百万円(同33.3%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は11億21百万円(同57.0%増)となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株につき6円とさせていただきます。

役員・従業員一同、一層の努力をしてみたいです。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

● 四半期連結貸借対照表

科 目	(単位:百万円)	
	当第2四半期 (平成28年9月30日現在)	前期 (平成28年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	17,183	17,821
現金及び預金	5,022	4,723
① 受取手形及び売掛金	7,041	7,643
② たな卸資産	4,308	4,767
その他	812	688
固定資産	10,991	11,291
③ 有形固定資産	8,275	8,846
無形固定資産	181	186
投資その他の資産	2,533	2,257
資産合計	28,175	29,113

科 目	(単位:百万円)	
	当第2四半期 (平成28年9月30日現在)	前期 (平成28年3月31日現在)
(負債の部)		
④ 流動負債	4,857	5,492
⑤ 固定負債	3,449	3,779
負債合計	8,306	9,272
(純資産の部)		
株主資本	19,425	18,429
資本金	1,555	1,555
資本剰余金	1,459	1,459
利益剰余金	18,751	17,755
自己株式	△2,339	△2,339
その他の包括利益累計額	442	1,410
純資産合計	19,868	19,840
負債、純資産合計	28,175	29,113

- POINT ①

「受取手形及び売掛金」は、前期末比6億1百万円の減少となりました。主な要因は、エネルギー産業関連品等の売上が減少したことによるものです。
- POINT ②

「たな卸資産」は、前期末比4億58百万円の減少となりました。主な要因は、エネルギー産業関連品等の売上が減少したことによるものです。
- POINT ③

「有形固定資産」は、前期末比5億71百万円の減少となりました。主な減少は、「機械装置及び運搬具(純額)」が3億25百万円減少、「建物及び構築物(純額)」が2億55百万円減少しました。
- POINT ④

「流動負債」は、前期末比6億35百万円の減少となりました。主な減少は、「支払手形及び買掛金」が6億25百万円減少したことによるものです。
- POINT ⑤

「固定負債」は、前期末比3億29百万円の減少となりました。主な減少は、「長期借入金」が3億65百万円減少したことによるものです。
- POINT ⑥

売上高の減少は、為替の円高の影響、エネルギー産業関連品等の減少によるものです。

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 四半期連結損益計算書

科 目	(単位:百万円)	
	当第2四半期 (平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで)	前第2四半期 (平成27年4月 1日から 平成27年9月30日まで)
⑥ 売上高	12,124	13,954
売上原価	8,901	11,075
売上総利益	3,222	2,879
販売費及び一般管理費	1,767	1,809
営業利益	1,455	1,069
営業外収益	41	47
営業外費用	64	42
経常利益	1,432	1,074
特別利益	—	99
特別損失	0	149
税金等調整前四半期純利益	1,431	1,023
法人税、住民税及び事業税	360	402
法人税等調整額	△50	△93
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,121	714

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位:百万円)	
	当第2四半期 (平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで)	前第2四半期 (平成27年4月 1日から 平成27年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,894	1,077
投資活動によるキャッシュ・フロー	△528	△243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△627	△784
現金及び現金同等物に係る換算差額	△441	△50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	297	△1
現金及び現金同等物の期首残高	4,688	3,904
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	36
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,986	3,939

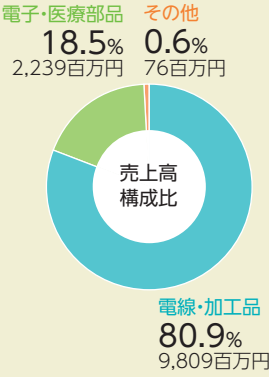
セグメント情報

電線・加工品

エネルギー産業関連ケーブル及びデジタル機器用ケーブルの売上は減少となりましたが、車載用ケーブル等の売上は好調に推移したことにより、売上高は98億9百万円(前年同期比16.6%減)となりました。生産性の改善及び原材料価格の低下等により、セグメント利益は14億7百万円(同32.6%増)となりました。

電子・医療部品

医療用特殊チューブ、ネットワーク機器及び放送機器の売上は好調に推移しましたが、エネルギー産業関連デバイス品の売上が減少したことにより、売上高は22億39百万円(前年同期比5.7%増)となりました。売上高の増加及び生産性の改善等により、セグメント利益は2億90百万円(同25.1%増)となりました。



4K・8K市場への取組み

当社の放送用光伝送装置はオリンピック中継でも活躍し、その性能の高さを証明した現在のハイビジョン光中継器をはじめとする放送機器の分野でも業界内に確固たる地位を築いております。

総務省は、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて4K・8Kを推進しています。現在のハイビジョン放送の解像度は約200万画素であるのに対し、4Kは約800万画素、8Kともなると約3,300万画素となります。放送関連の市場は伝送の大容量化が進んでおり、伝送機器の高速化及び圧縮技術の高度化が求められています。

また、大容量の伝送を実現するために放送信号のIP化も進められております。IP化により、既存ネットワーク等のインフラを使用し、低コストで放送信号を伝送することが可能になり、放送用データ以外の情報も乗せて伝送することにより放送以外のマーケットで4K・8K映像を利用することが可能になります。

2018年には4K・8Kの実用放送開始が予定されており、現在放送機器市場は現行の2K (HD) から4K・8Kへの移行期にあります。そのような現在の市場の状況において、4K・8Kに向けた設備投資需要に対応するため、4K・8Kへの対応の足がかりとして当社では現在放送局内で使用されている規格及び放送局のIP化等次世代にも対応したマルチプラットフォームのコンバータ・中継器の開発を進めております。

このオリンピックへ向けた需要の高まり、市場の広がりに対しこれまで培ってきた放送機器の実績・技術力を活かした製品企画、顧客のニーズに合った提案活動に取り組んでまいります。

●総務省が推進する4K・8K放送とは

現行のハイビジョン (2K) を超える超高精細な画質による放送で、立体感、臨場感ある映像を楽しめます。

	解像度	画面サイズ (例)	実用化状況
2K	約200万画素	32インチ等	テレビ (HDTV：地デジ等)
4K	2Kの4倍 約800万画素	50インチ等	映画・実用放送・VOD (デジタル制作・配信)
8K	2Kの16倍 約3,300万画素	85インチ等	実験段階 (パブリックビューイング)

Source：総務省資料「4K・8Kの推進に関する現状について」



HOL-PB (開発中のマルチメディアプラットフォーム)

(平成28年9月30日現在)

●会社概要

商号	平河ヒューテック株式会社 HIRAKAWA HEWTECH CORP.
設立	昭和23年9月
資本金	15億5,507万760円
従業員数	2,491名(連) 364名(単)

役員氏名

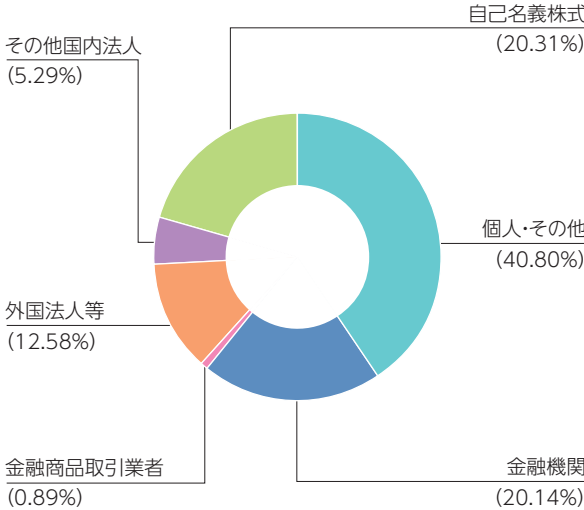
ヒューテックグループ代表取締役会長	隅田和夫
代表取締役	目黒裕次
取締役	宇梶大
取締役	篠祐一
社外取締役	湯佐富治
社外取締役	沼田恵
常勤監査役	橋本孝
社外監査役	阿部博
社外監査役	江部安弘

執行役員社長	篠祐一
執行役員	木村正紀
執行役員	椎名祐一郎
執行役員	石戸隆雄
執行役員	澤口健一
執行役員	日高浩

●ヒューテックグループ

海外拠点	国内拠点
●連結子会社(製造) HIKAM ELECTRONICA DE MEXICO, S.A. DE C.V. HIKAM TECNOLOGIA DE SINALOA, S.A. DE C.V. 福泰克(深圳)电子有限公司 HEWTECH PHILIPPINES CORP. ●連結子会社(販売) HIKAM AMERICA, INC. 上海河拓克貿易有限公司 福泰克香港有限公司 台湾福泰克股份有限公司 HEWTECH (BANGKOK) CO., LTD. ●連結子会社(製造・販売) 福泰克(連雲港)电子有限公司 HEWTECH (THAILAND) CO., LTD.	●本社 ●営業拠点 (営業所) 営業本部 東北営業所 北関東営業所 中部営業所 関西営業所 ●開発・生産 (工場・事業所) 古河事業所 桃生工場 福島工場 新潟工場 ●連結子会社 (製造・販売) 四国電線株式会社 株式会社新潟電子

●所有者別株式分布状況



当社ホームページのご案内

<http://www.hewtech.co.jp/>

IR情報をはじめ、当社をよりご理解いただくための情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。